

表-1 新線建設工事進捗状況 (昭. 27.12.20. 現在)

No.	工 区 名	施 工 延 長	請 負 金 額	竣 功 年 月 日	請 負 業 者	出 来 高	摘 要
1	池袋仮駅	38.5 m	42 270 千円	28. 9. 15	清水	%	
2	池袋橋	486.7	100 611	28. 5. 31	大和	82	
3	西巣鴨	620.0	113 753	27. 8. 31	鹿島	100	
4	辻町	685.5	130 749	27. 12. 31	前田	100	
5	巢鴨	174.5	34 300	28. 9. 20	西松	0	
6	大塚	384.0	60 393	28. 10. 10	"	25	
7	窪塚	442.5	79 382	28. 1. 15	鉄道建設	99	
8	清水谷	418.5	60 080	28. 11. 10	鉄道工業	0	
9	第六天	565.0	79 500	28. 9. 20	飛鳥	0	
10	金富町	400.0	57 700	28. 11. 20	酒井	0	
11	水道町	320.0	58 460	28. 12. 10	佐藤	0	
12	後楽園	569.5	78 000	28. 9. 20	熊谷	0	
13	真砂町	309.5	62 500	28. 12. 31	大林	0	
14	本郷	256.3	62 600	28. 12. 20	問	0	
15	湯島	405.9	78 066	28. 11. 20	"	100	
16	順天堂前	98.7	18 000	28. 3. 29	"	70	
17	御茶の水	398.5	110 660	28. 12. 20	大成	18	

写真-1 池袋仮駅附近現場

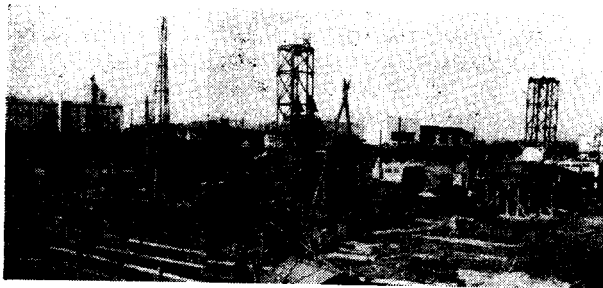


写真-3 のび行く地下鉄



(帝都高速度交通営団)

写真-2 開業を待つ新大塚駅



○土質基礎工学委員会活動状況

本春5月スイスにおいて開催される国際土質基礎委員会会議に代表を派遣する方針で関係官庁と接衝中であり、数名の代表を送ることができる見込みである。

本年度より土質力学の啓蒙宣伝のため機関誌を季刊として発行する予定にて目下編集部で構想を練っており、大体2月中旬までに原稿も集まり、4月中旬に発行可能な域に達している。内容は現場の工事を土質力学

的に解明することを主体とし、講座は土質力学入門、試験法の詳細な解説などが豊富に取り入れられて、土質技術者の新人養成に重点がおかれている。

従つて従来の国際委員会とは別に国内会員として少額の会費で会員組織をとることとなる予定である。

現場における直接施工者が横の連絡をとる便を考えて、各省、各研究所、各大学の工事、研究ニュースも充分とり入れて、いたづらに一人で苦勞することのないように注意されるはずである。

本委員会が主体となつてつくられた土質試験法のJISはその後、路床土支持力試験、道路の土質ならびに試料採取方法、アース・ダムの土質調査のための試料採取方法、現場密度の測定法、平板載荷試験法も完成し、12月26日工業技術院工業標準基本部会において承認され2月中に発行する予定である。(谷藤正三)

◎第8回理事会(昭.28.1.13)出席者:立花副会長,富樫,中島,本間,佐島,高畑,岡本,榎の各理事,協議事項:1)12月中各種委員会その他報告,2)昭和28年総会及び第9回年次講演会について,3)国際会議代表者推薦について, a)国際水理学会大会(Minneapolis)石原藤次郎,本間仁,佐藤清一の3君, b)第3回国際土質基礎工学委員会大会(Zürich)星和,村山朔郎の2君 c)国際接合学会(Copenhagen)田中五郎君,4)土木賞委員会を2月初旬開催のこと,5)基金運用について,6)日本工学会主催アジア工学工業大会を1954年10~11月開催について,7)会員入退会について

◎各種委員会

1. 編集委員会(昭.28.1.20,21)出席者:本間,佐島正副委員長,村山,荒井両地方委員,岡本,菊池,安部,細井,岩塚,矢野,平井(代),森の各委員,協議事項:1)会誌及び論文集進捗状況報告,2)原稿審査報告及び新原稿審査委員の決定,3)第38巻3号登載論文を下記のとおり決定した。

伊藤剛:米国の河川事情,加納俊二:アメリカのトンネル工事を視て,島昭治郎:ぜい性材料の切削について,村山朔郎・越賀正隆・三瀬貞:アルミニウム電極による土の電気化学的固結方法について,江藤智:重力操車場の設計について,村田二郎:コンクリートの癒着について,

4)抄録について,5)討議依頼先の決定,6)土木賞候補論文の下審査,7)委員補充その他

2. 第12回法面築堤崩壊防止委員会(昭.28.1.23)出席者:最上,高坂,仁杉,宮崎の各委員,渡辺,三木,岩塚,山口,市嶋,齋藤,白石,伊崎,大場,池田の各幹事,松波,高橋,木村,浜の各研究員,協議事項:1)前回に引き続き条文の審議を行った。

◎その他

1. 第2回土木建築両学会フルイ規格に関する打合

会(昭.28.1.8)出席者:(建築)藤田,平賀,久良知,野平,狩野,田中の諸氏,(工業技術院)笠石,柴川の両氏,(土木)吉田,青木,川口,国分の諸氏,協議事項:工業技術院基本部会の意を受けた青木,藤田両委員から経過説明の後協議の結果,規格表の右端欄に「コンクリート用骨材フルイの呼名」欄を設けるよう提案することとした。

2. 世界動力会議国際ダム委員会の日本国内委員会発起人会及び創立総会(昭.28.1.16)日比谷の電力中央研究所会議室において開催,発起人大部分出席,大西英一氏を議長に推し,各役員選挙等を経て,めでたく発足した。事務局は当分電力中央研究所内に置き,事務局は動力協会において取扱うこととした。

3. 元中部支部長比企野広治氏は1月6日狭心症で急逝されたので,学会長より弔電と花輪を靈前に呈し謹んで哀悼の意を表した。

支部だより

1. 北海道支部 幹事会(昭.28.1.17)出席者:岩本幹事長外各幹事,協議事項:昭和27年度研究発表会を2月26,27両日北海道大学工学部講堂において開催することとし発表者約25名の予定で準備する。

2. 東北支部 役員会(昭.28.1.30)本部の要請に基づき5月総会及び第9回年次講演会を仙台市で開催することについて協議し,別項「お知らせ」欄のとおり決定,準備を進めることとした。

3. 中部支部 第9回幹事会(昭.28.1.16)出席者:石川支部長,高桑幹事長,村瀬,小村,渡辺,鈴木(和),中谷,長坂,小栗(代),片岡(代),鈴木(代),井上(代),早川(代),和久(代),増山(代),戸田(代),四野宮(代),議事:1)比企野顧問逝去報告,2)第3回役員会報告,3)比企野氏(土木賞委員会委員及び地区常議員)後任として名工大教授荒井利一郎氏を推薦すること,4)1~3月行事について

昭和28年1月分入退会報告(28.1.5~1.31,現在)

1. 入会 43名(正16,准19,学8) 2. 退会 17名(正9,准7,学1) 3. 転格 2名(准より正2)

会員現在数(28.1.31現在)

名誉員	賛助員	特別員	正員	准員	学生員	合計	増加数
19	16	249	4739	5312	1217	11552	26

昭和28年2月10日印刷	土木学会誌	定価 100円
昭和28年2月15日発行	第38巻第2号	
編集兼発行者	東京都千代田区大手町2丁目4番地	中川一美
印刷者	東京都港区赤坂溜池5番地	大沼正吉
印刷所	東京都港区赤坂溜池5番地	株式会社技報堂
東京中央局区内 千代田区大手町2丁目4番地		電話 和田倉(20)3945番
発行所	社団法人 土木学会	振替東京16828番